

株主・投資家の皆さまにおかれましては、日頃、小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、新型コロナウイルスに罹患された皆さまに、お見舞い申し上げますとともに、医療従事者の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

ここに第100期上半期の業績および当社グループにおける取り組みについてご報告申し上げます。

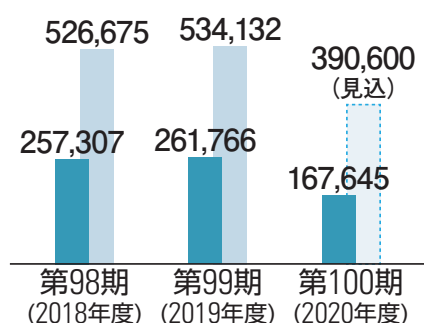


取締役社長 星野晃司

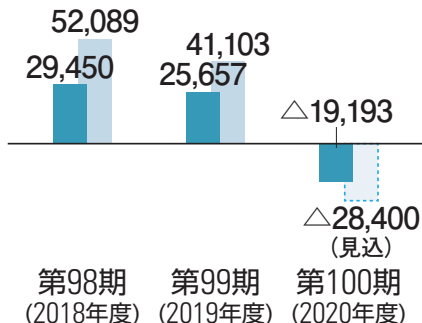
▶ 連結業績ハイライト 単位：百万円

■ 連結通期 ■ 連結第2四半期累計

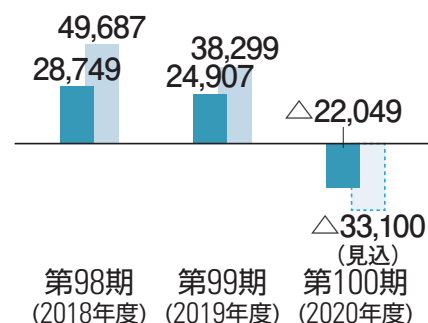
営業収益



営業利益



経常利益



第100期(2020年度)第2四半期連結決算の概要

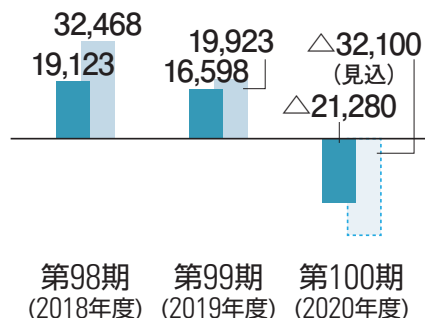
当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、営業収益は167,645百万円(前年同期比36.0%減)、営業損失は19,193百万円(前年同期 営業利益25,657百万円)となったほか、経常損失は22,049百万円(前年同期 経常利益24,907百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は21,280百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益16,598百万円)となりました。

第100期(2020年度)連結決算の見通し

各事業において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等を見込むことから、営業収益は390,600百万円(前期比26.9%減)を見込んでいます。

これに伴い、営業損失は28,400百万円(前期 営業利益41,103百万円)、経常損失は33,100百万円(前期 経常利益38,299百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は32,100百万円(前期 親会社株主に帰属する当期純利益19,923百万円)を見込んでいます。

親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益



剰余金の配当(中間配当)の見送りおよび配当予想の修正理由

当社では、利益還元については、業績向上の成果として連結配当性向30%を目安に安定的な利益配当を継続していくことを基本方針としています。第100期(2020年度)の業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け大幅な損失となる見通しにあります。

こうした未曾有の厳しい経営環境、業績見通しおよび財務状況を踏まえ、中間配当は財務基盤の安定を図る観点から、誠に遺憾ながら見送らせていただきますが、期末配当予想は株主の皆さまへ安定的な利益配当を行う観点から、前期実績と同額の1株当たり10円とさせていただきます。これにより年間配当予想は前期実績から11円減配の1株当たり10円となります。